

山協ニュース

一般社団法人岩手県山岳協会

第205号

平成30年6月10日発行

<http://long-distance.jp/sangaku/>

岩手県山岳協会一般社団法人へ移行

昭和16年7月設立しました当協会は、戦前戦後の混乱期を経て、活発な登山活動、競技登山への挑戦等着実に77年の歴史を刻んできました。この間の先輩の皆さんのご努力と関係機関の指導に改めて感謝をします。そして今、法人化という大きな節目の年を迎えました。

5月1日付で盛岡地方法務局の法人登記も完了し、一般社団法人岩手県山岳協会としてスタートしました。日山



コンバインド盛岡大会駅前広告塔

協加盟団体として東京都、大阪府、広島県に次いで4番目の法人化となります。スポーツ団体は、スポーツの商業化や2020東京オリンピック等を控え、変革の時代を迎えています。また、スポーツ界を取り巻く様々な事象は、組織のガバナンス、法令順守、組織運営の可視化等組織の大小にかかわらず、社会的評価、使命の重要性が問われる時代となってきました。当協会も、他のスポーツ団体同様、リスク管理、会計の透明化等組織としての体制強化が求められています。このような時代背景のなか、加盟団体の皆様をはじめ関係各位の適切なご意見、ご指導を頂き法人へ移行し、本県を代表する山岳、スポーツライミング団体として、また県民の期待に応えうる団体として活動体制が整いました。しかし、法人化を契機に更に加盟団体との連携強化、執行体制、財政基盤の確立等しっかりとした組織づくりが求められています。正にこれからが本番と考えています。引き続き、変わらぬ御指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

岩手県山岳協会臨時総会報告

岩手県山岳協会臨時総会は、4月14日(土) サンセール盛岡で、代議員総数94名中本人出席47名、委任状16名の計63名の出席のもと開催されました。会議開会にあたって小野寺修事務局長が臨時総会の趣旨、日程説明を行い会議に入りました。「法人化につきましては、一般社団法人及び一般財団法人法に基づき、進めることとなります。

法人化への移行については、去る2月3日(土)開催の平成30年度岩手県山岳協会定時総会で決議を頂きました。本総会は、具体的な内容につきまして決定を頂くものです。そのため、まず、任意団体であります岩手県山岳協会の法人化移行に関する基本事項は、協会として機関決定に基づき進めることが肝要であることから、重要事項について臨時総会で協会としての決定頂きたいと思いません。臨時総会で決定頂きました内容に基づき、引き続き予定しています一般法人法に基づく設立時社員総会を開催し、法的要件について決定することとなります。その後、盛岡公証人合同役場との事前協議を経て本日提案申し上げます法人定款につきまして、正式に公証人役場の認証を頂き、盛岡地方法務局へ5月1日に登記申請を行う予定です。」開会にあたり、高橋時夫会長が挨拶の後来賓を代表して、協会顧問の柳村典秀滝沢市長の祝辞、議長に一関第一高等学校 清藤祐貴雄氏を選任した。議事は、議案第1号 一般社団法人岩手県山岳協会設立に伴う、岩手県山岳協会会員の移行について、議案第2号 一般社団法人岩手県山岳協会設立に伴う、岩手県山岳協会の財産の寄付及び権利義務の全てを継承することについて、議案第3号 一般社団法人岩手県山岳協会定款について、議案第4号 一般社団法人岩手県山岳協会事務所の所在地については、いずれも原案のとおり決定。議案第5号 一般社団法人岩手県山岳協会設立時社員の選任については、設立時社員として、法人の設立準備を担ってきた責任の立場にある高橋時夫、吉田春彦、武田勝栄、小山勝稔、畠山 晃の5氏を設立時社員として決定。議案第6号 一般社団法人岩手県山岳協会設立時理事18名の選任について及び議案第7号 一般社団法人岩手県山

岳協会設立時監事2名の選任については、設立時理事に高橋時夫、菅原一志、吉田春彦、武田勝栄、小山勝稔、畠山 晃、植田瑞穂、佐藤 誠、佐藤幸久、小野寺 修、土井祐之、遠藤敏英、山口吉男、村上良則、中島隆之、千葉真英、十二林良治、新田亮一の18名を、監事は遠藤正紀、盛合敏男の両氏を選任した。

議案第8号一般社団法人岩手県山岳協会設立に伴う岩手県山岳協会の解散については原案のとおり可決された。議案第9号岩手県山岳協会の一般社団法人への移行に伴う、精算事務に関する精算人については、早池峰山岳会鈴木主計氏、滝沢市山岳協会 遠藤正紀氏、福岡山好会盛合敏男氏を選任した。

議案第10号一般社団法人岩手県山岳協会平成30年度事業計画及び議案第11号一般社団法人岩手県山岳協会平成30年度収支予算(案)について、議案第12号一般社団法人岩手県山岳協会会費の決定についてはいずれも原案のとおり決定した。その後、小野寺修事務局長より、スポーツクライミング第1回コンバインドジャパンカップ2018について、2020アジア大会の盛岡開催、スポーツクライミングリード施設の完成供用について、平成6年版県山岳登山、スポーツクライミング講習会、研修会マニュアルの改訂についてを報告し、全ての日程を終了した。

一般社団法人岩手県山岳協会設立時社員総会

臨時総会を受けて、一般社団法人岩手県山岳協会設立時社員総会は、4月14日(土) 午後2時50分からサンセール盛岡で、設立時社員の高橋時夫、吉田春彦、武田勝栄、小山勝稔、畠山 晃の5氏の出席のもと開催され、一般社団法人岩手県山岳協会定款、一般社団法人岩手県山岳協会事務所の所在地を岩手県盛岡市湯沢南二丁目4番11号に置くこと。協会設立時理事18名の選任については、設立時理事高橋時夫、菅原一志、吉田春彦、武田勝栄、小山勝稔、畠山 晃、植田瑞穂、佐藤 誠、佐藤幸久、小野寺 修、土井祐之、遠藤敏英、山口吉男、村上良則、中島隆之、千葉真英、十二林良治、新田亮一の18名の選任、設立時監事は遠藤正紀、盛合敏男の両氏を選任した。また、一般社団法人岩手県山岳協会平成30年度事業計画について、一般社団法人岩手県山岳協会平成30年度収支予算(案)、会費についても原案の通り決定した。その後の理事会で会長、副会長、専務理事、担当部長を互選した。(後段報告)

岩手県山岳協会精算人会議報告

平成30年5月7日(月)午後7時から、精算人をお願いしている鈴木主計、遠藤正紀、盛合敏男の各氏の出席のもと

と精算確認を行いました。



岩手県山岳協会の財産等に係る一般社団法人岩手県山岳協会への寄附及び権利

義務の移譲継承については、従前どおり(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会・(公財)岩手県体育協会等への名称変更手続きの完了。岩手県山岳協会現金預金について一般会計、基金・特別会計について残高証明書及び現金を提示して確認、備品調書の確認等を行い、精算確認が終了しました。財務関係は次の通りです。

現金・預金

(単位: 円)

一般会計		基金・積立金	
法人会計	168,381	財政調整基金	1,838,264
指導部	80,985	東北総体積立金	300,040
競技運営部	378,021	選手強化費分	143,602
登山普及部	146,914	毛布等積立金	3,401,251
SC部	263,454	物販管理準備金	954,578
小計	1,037,755	小計	6,637,735
合計	7,675,490		

備品

備品名	個数	購入年
アウトドアタイマー	2	H22・H24
ビデオカメラ	2	H22
ポータブルアンプシステム	1	H28
スピーカーシステム	1	H28
スピーカースタンド	1	H28
ワイヤレスマイク	2	H28

八王子ワールドカップ伊藤ふたば選手六位入賞

6月2日(土)・3日(日)東京八王子で開催されたワールドカップは、多くの観客やマスコミの取材の中、国民の関心も高く、またNHK等の放送も入り盛り上がりしました。本県からは、伊藤ふたば選手が出場し、予選、準決勝と勝ち進み、特に準決勝では二位と健闘。決勝では、優勝の野口啓代、野中生萌らとともに国内選手では3位、決勝6位で初めての入賞を果たしました。国際大会の経験を積んで実力をつけてほしいと思います。これからも

海外での連載が続きます。応援よろしくお願ひします。

残雪期講習会兼指導員研修会報告

期日：5月19日（土）～20日（日）

場所：国見温泉～秋田駒ヶ岳

講師：中島（北上山岳会）、田所（岩手アルペンローズ山岳会）、参加者：駒込・及川（北上山岳会）、西館・渡邊・竹田・桑原・鎌田・長畑（岩手アルペンローズ山岳会）、武田（岩鷲山岳会）、藤原（ハイエイトカンパニー）、赤澤（滝沢市山岳協会）、菊池・奥寺（和賀町山岳会）、澤口（日本山岳会岩手支部）、横山・伊藤（花巻市山岳協会）、森（友愛山の会）計19名



19日午後5時半からの開講式の後、土井指導部部長が氷雪技術の

ポイントについて講義を行った。翌日の講習につながる講義であったので皆、真剣に聴講した。そして今年は参加人数が多く技量にも差がみられたため、上級者班と中・初級者班に分けることとなり班分けが発表された。上級者班には田所講師、中・初級者班には中島が就くこととした。土井部長は講義の後に仕事の都合で国見温泉を退去した。その後の懇親会は例年よりも大勢が参加したため大変な盛会となった。



20日朝6時に出発。上級者班12名が出発した後、

中・初級者班7名が出発。ムーミン谷の入り口で雪斜面となったため、ここで上級者班はアイゼン装着し奥に進む。中・初級者班はその場で歩行技術・ピッケル・アイゼン技術を訓練。そして、緩斜面での滑落停止の実技訓練を行った。ピッケルやアイゼンが初めての受講者もあり、初めは緊張の面持ちであったがすぐにコツを習得した。その後にアイゼンを装着したまま奥に向かう。途中の雪斜面を斜登降し歩行技術を確認しながら進み、上級者班の訓練場所で合流した。中・初級者班は中等度斜面で滑落停止を復習するも「止まらな〜い」、と滑落停止

技術の難しさを再認識した。また、スタンディングアックスビレー（SAB）の制動確保を体験した。初めてロープ



を触り自分初めてロープを触り自分が滑落者を止める事に感動

するものもいた。その後、中初級者班はムーミン谷から下山し、2時に国見温泉到着。一方、上級者班はアイゼン・ピッケル技術・滑落停止技術の再確認の後にSAB構築と自己脱出法を訓練した。そして、男岳頂上への急斜面に固定ロープを張り登攀し、頂上を経由し下山し3時に国見温泉に到着した。閉校式では田所講師よりロープワークをもう少し普段から練習するように指摘があった。

初級者にとっては初めての体験が多く、とても興味深く講習を受けていたのが印象的であった。ロープワークについてはアルパインクライミングの基本であるため、さらに練習する機会を作らなければならないことも実感した。沢登り講習会、岩登り講習会の前には数回のロープワーク講習会を開催する必要があるかもしれない。

（報告 中島隆之：指導部副部長）

岩手高校男子4年ぶりの優勝、盛岡一高女子6連覇、

第59回岩手県高等学校登山大会は、5月30日（金）から6月1日の3日間、焼石岳を会場に開催。男子13チーム、女子3チームが出場。天候が心配されましたが、初日の開会式が始まる頃には、夏の日差しとなり深緑の格好の

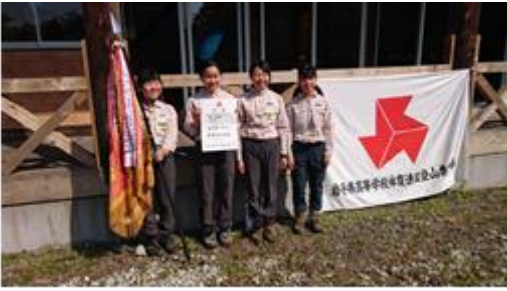


登山日和のなか熱戦が展開されました。第1日目は、つづ沼

男子優勝の岩手高校メンバー

キャンプ場での開会式とコース途中までの体力等の審査、2日目は、焼石岳山頂往復で審査が行われました。残雪のなか長丁場での競技となり体力不足で途中棄権のチームが出るなど体力強化が必要なパーティも見られた。結果は、男子は4年ぶりに岩手高校が優勝、女子は、イン

ターハイ優勝の実力を誇る盛岡一高が 6 連覇を成し遂げ晴の優勝旗を手にした。



盛岡一高女子チーム

成績。男子第 1 位 岩手高校 98.6 点(門外銀河、熊谷宗平、菊池誠、一戸藍)、第 2 位 盛岡工業 98.3 点、第 3 位 盛岡一高 98.2 点。女子第 1 位 盛岡一高 99.3(西森優、山下ちひろ、愛木怜依、佐藤百恵)、第 2 位 盛岡南 96.5 点、第 3 位 盛岡農 86.5 点。優勝した岩手高校男子と盛岡一高女子は、三重県鈴鹿山系で 8 月 3 日から 7 日に開催されるインターハイに出場。また、2 位の盛岡工業男子と 2 位の盛岡南女子は、優勝チームとともに、秋田県の秋田駒ヶ岳で 6 月 30 日から 7 月 1 日開催の東北大会への出場権を獲得しました。皆で応援しましょう。

平成 30 年度東北六県山岳連盟(協会)連絡協議会

平成 30 年度東北六県山岳連盟(協会)連絡協議会は、5 月 12 日(土)と 13 日(日)の二日間、岩手県八幡平市の松川温泉で(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会会長八木原罔明氏をはじめ、東北ブロック六県の会長、理事長、担当部長等 23 名が出席して開催された。

全体会では、八木原会長の講話で、「昨年、鈴木大地スポーツ庁長官の岩手山山開きにコラボして山の日制定キャンペーンを行い大いに盛り上がりました。また、近年、特にスポーツクライミングの宣伝、マスコミの取材が多くなっていますが、東京オリンピック後が課題であり、パリ大会での正式種目に期待している。登山界は、活性化が課題。具体的な活性化への道筋をつけないと次の時代がない。という思いで力を入れていく必要があります。予算は、最近まで 1 億円規模であったが本年度は 4 億円になっている。組織登山者は、山岳関係団体を含めても 8 万人ほどで、900 万人とも言われる登山者の 1 パーセントにも満たない組織率である。登山界をいかにリードしていくか悩ましい。1 パーセントの組織が 99 パーセントをいかにリードしていくか。人口減少社会に入り少子高齢化の中どのようにして仲間を増やしていくか難しい時代となってきた。日山協、労山、日本山岳会等と一緒に活動する等幅広く考えなければならない。2020 年は、日山協創立 60 周年となり記念事業、募金活動を展開していきたい。」との要旨のお話を頂きました。

会議初日の全体会では、日山協創立 60 周年記念事業募金活動についての協力、ジュニア登山教室、山の日制定記念事業補助金の積極的な活用、山岳保険加入の組織的働きかけと共済会助成事業による研修会、登山教室等の積極的な開催について協議した。分科会では、①高体連顧問の指導研修が喫緊の課題であること。②スポーツクライミングは、地方でも愛好志向者は多いが施設、指導者等対応しきれていない現状で、競技人口の底辺拡大の隘路であること。③岳連(協会)加盟の山岳会数については、少子高齢化の中、総じて微減傾向、高体連登山部の減少が目立っていること。④若手登山指導者が少ない。特にスポーツクライミングの指導者養成が急務。⑤高体連との意思疎通が重要。高校の冬山登山は原則禁止ではあるが登頂を目的としない登山に限って登山計画書審査を経て行われていること。⑥組織に入っていないクライミング愛好者からの大会運営等協力を得るのが難しい。ジム名で岳連加入し指導者不足をカバーしている例、⑦山岳共済会広報では、加入メリットを分かり易く書くこ



と。還付金制度についての説明。とつつき易くする工夫が必要(まとめ役、振込まで手伝う等。)

今回、特に話題となったのは、高校登山部(山岳部)の冬山登山計画書審査会の在り方で、①画一的な審査には無理がある。審査のガイドラインが必要。②高体連は、夏山合宿が山行活動の中心となっている。夏山も計画書審査会の対象になっている県もある。③県によっては冬山登山に関して、登れる山、自主規制している山の例示、④冬山登山計画に関して審査会の権限、雪山登山の自主規制山城の指定、⑤登山部顧問は、転勤者や初心者が多い。県レベルで顧問講習会を行っている例。岳連(協会)からの協力、コーチ制度の活用、⑥アバランチトランシーバー等の使い方の指導、地図の見方、スマホ活用による位置確認 ⑦東北六県高校顧問研修会での計画書審査会メンバーとの懇談の必要性、⑧冬山登山のできる山でできない山の自主規制、一般的な山(家族登山対象) まで規制は無理がある。⑨冬山登山の原則禁止への各県の実

情の把握(全国高体連) ⑩登山計画審査会制度に係るメンバーについても、高体連1名入っている県、委員長、部長が入っている県等様々。⑪現状は、岳連(協会)との連携強化の機会でもある。等厳しい気象条件の中で生活している雪国ならではの冬山との関わりの中で現実的な意見提言が多く述べられた。スポーツクライミングについては、施設の整備が進んでいる県と、そうでない県、ジュニア育成では低年齢化に伴う課題として中学校の部活動に縛られることや大会参加等で公休扱いにもらえるかどうかの不安の解消のため中体連との協議やジムとの関係構築していく必要。戦後復興のあかしと言われている国体の意義と国体選手養成の位置づけも変わってきていること。役員もボランティア的な役割から抜け出せないでいるとの意見が出され今後の課題とした。

各山域の登山情報として、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳は現在「噴火警戒レベル1」である。一切経登山直登ルートは立入禁止となっている。早池峰山河原の坊コースは、一部崩壊のため通行止めとなっている。小田越えコース等の利用となること。当協会出席者 高橋時夫、吉田春彦、畠山晃、植田瑞穂、佐藤誠、小野寺修、土井祐之、山口吉男

(公財) 日本スポーツ協会認定山岳指導員検定結果

A級主任検定員合格 佐藤 誠、土井祐之

上級指導員合格 中島隆之、田所一志

第1回理事会開催報告

5月1日(火) 19時~21時15分

場 所 盛岡市 (公財)岩手県体育協会・会議室

出席者 高橋会長、菅原、吉田、武田、小山各副会長、植田、佐藤(誠)、小野寺、遠藤、土井、山口、村上、中島、佐藤(幸)、佐藤(幸)、十二林、新田各理事、遠藤、盛合監事 20名中18名出席 欠席者 畠山専務理事、千葉(真)理事

議事

- (1) 一般社団法人岩手県山岳協会登記完了に伴う各種手続きについて
- (2) 一般社団法人岩手県山岳協会正会員について
- (3) 一般社団法人岩手県山岳協会規程の制定は、次の規程は決定し、同日施行とした。

①一般社団法人岩手県山岳協会総会規程

②一般社団法人岩手県山岳協会加盟団体規程

③一般社団法人岩手県山岳協会組織・管理規程

④一般社団法人岩手県山岳協会理事会規程

⑤一般社団法人岩手県山岳協会積立金設置規程

- (4) 一般社団法人岩手県山岳協会設立報告について

日山協、県体育協会等関係機関への一般社団法人設立報告。

- (5) 一般社団法人岩手県山岳協会理事の業務担当
- (6) 公益社団法人日本・スポーツクライミング協会正会員・委員は、下記のとおり。

正会員 高橋時夫、指導委員 土井祐之、競技委員 遠藤敏英、遭対委員 土井祐之、自然保護委員 山口吉男、国際委員 土井祐之、ジュニア委員 山口吉男、広報担当 小野寺修

- (7) 一般社団法人岩手県山岳協会スタッフについて
従来の常任理事のうち理事就任者以外の常任理事にいて、協会スタッフとして委嘱することを決定。
- (8) 東北六県岳連(協会)連絡協議会について
- (9) 協賛金募集活動について協賛金募集について決定。
- (10) 山協ホームページのリニューアルについて
具体的作業を会長、事務局で取進めることを了承。
- (11) その他 小野寺修理事(事務局長)から岩手県主催の早池峰地域保全推進協議会委員推薦について、説明があり花巻市山岳協会長中村浩之氏を推薦。
- (12) 各部提案協議事項

①事務局関係

旧組織の精算事務に係る残高証明等の準備について各部長等精算人会議までに手続きを行うこととした。また、法人移行に伴う県民税、同市民税、森林税で年間72,000円の納税見込みであるとの報告があった。

①競技運営部関係

スポーツクライミングコンバインドジャパンカップについて小山副会長から準備状況の説明及び関係備品調書の提示があった。トレイルランニング大会について 提案のとおり決定した。なお、コース刈り払い作業は7月14日(土)実施することとし加盟団体の協力を要請することとした。

②指導部関係

平成30年度沢登り講習会兼指導員研修会及び岩登り講習会兼指導員研修会について了承した。

③登山普及部関係

岩手山八合目避難小屋 2018 ボッカ大将の開催について提案のとおり決定した。

④スポーツクライミング部関係

5月19日(土)と20日(日)全日本ユース派遣 帯同 小山副会長、選手4名 倉吉

6 報告

- (1) スポーツクライミング親子教室、70名参加
- (2) 国体選手選考会兼第12回ボルダリング選手権大

- (3) 各種大会結果について大会報告があった。
- (4) 岩手山八合目避難小屋について冬山から夏山小屋へ切替え完了報告があった。
- (5) 参与会桜観会について

(一社)岩手県山岳協会理事・監事体制

会長 高橋時夫(翌檜)、**副会長** 菅原一志(高体連担当)、吉田春彦(総務担当 都南)、武田勝栄(登山担当 巖鷲)、小山勝稔(SC担当 翌檜)、**専務理事** 畠山 晃(北上)、**理事** 植田瑞穂(総務 巖鷲)、佐藤 誠(登山 都南)、佐藤幸久(高体連 盛岡一高)、小野寺 修(事務局局長 悠々)、土井祐之(指導部長 北上)、遠藤敏英(競技運営部長 矢巾山好)、山口吉男(登山普及部長 滝沢市山協)、村上良則(事務局次長会計担当 都南)、中島隆之(指導部副部長 北上)、千葉真英(競技運営部副部長 盛岡南)、十二林良治(登山普及部副部長 巖鷲)、新田亮一(SC副部長 岩手高校)、**監事** 遠藤正紀(滝沢市山協)、盛合敏男(福岡)の各氏。

(一社)岩手県山岳協会スタッフ体制

一般社団法人移行に伴い、従来常任理事として協会役員を各加盟団体会からお願いしていた方々について、一部理事就任者以外に、協会の機動的運営にあたる役職として「スタッフ」制度を設けました。スタッフは、担当部署を中心に協会事業の執行にあたります。

総務部 中村浩之(花巻市山協)、鬼川博昭(大迫高校)、四戸岳也(滝沢市山協)、**指導部** 渡邊美智子(岩手アルペン)、藤原 拓(ハイエスト)、駒ヶ嶺智裕(北上)、田所一志(岩手アルペン)、寺内宏普(高体連)、菰澤 優(翌檜)**競技運営部**、伊藤 圭(岩手クライミング)、田中耕一(翌檜)、田沼政司(盛岡 RCC)、工藤裕志(八幡平市山協)、角掛 実(玉山会)、**登山普及部** 三浦拓男(JR 盛岡)、長畑重広(岩手アルペン)、渡辺良平(翌檜)、佐藤由子(福岡)、佐藤幸治(巖鷲)、近藤修三(高山植物)、**スポーツクライミング部** 長谷川健太(岩手クライミング)、島崎操一(盛岡 RCC)、松山貴章(岩手アルペン)、昆 脩太(岩手クライミング)の各氏です。

第2回理事会開催報告

日時 平成30年6月6日(水)19時~21時15分

場所 盛岡市 飯岡公民館会議室

出席者 高橋会長、菅原、吉田、武田、小山の各副

会長、植田、佐藤(誠)、小野寺、遠藤、土井、山口、村上、佐藤(幸)、千葉(真)、新田各理事、盛合監事 20名中16名

- 欠席者 畠山、中島、十二林、遠藤
- (1) 第1回理事会議事録の確認について
- (2) 下記の一般社団法人岩手県山岳協会規程を決定。
 - ①一般社団法人岩手県山岳協会表彰規程
 - ②一般社団法人岩手県山岳協会名誉会員、顧問、参与に関する規程
 - ③一般社団法人岩手県山岳協会賛助会員規程
 - ④一般社団法人岩手県山岳協会会計処理規程
 - ⑤一般社団法人岩手県山岳協会予算管理規程
 - ⑥一般社団法人岩手県山岳協会事務局規程
- (3) 平成30年度各種表彰 被表彰者の推薦
 - ① (一社)岩手県山岳協会上期表彰者について
 - ② (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰候補の推薦について
 - ③(公財)岩手県体育協会体育功労表彰者の推薦
- (4) 協会旗のデザインについて
- (5) 協賛金募集活動について
- (6) 各部提案協議事項
 - ① 事務局関係 スタッフについて
 - ② 競技運営部関係
県体出場チーム 成年男子2、女子1
 - ③ 指導部関係
・登山・スポーツクライミング技術講習指導マニュアルの改訂について、日山協指導員総会報告、残雪期講習会報告
 - ④ 登山普及部関係
祝日山の日記念登山事業、八合目避難小屋管理
 - ⑤スポーツクライミング部関係
親子クライミング体験教室の開催について
- 6 報告事項
 - (1) コンバインドジャパンカップ2018 盛岡大会準備
 - (2) 日本ユース選手権大会結果報告
八王子やワールドカップについて
 - (3) 東北六県岳連(協会)連絡協議会について

2018 鞍掛山トレイルランニング大会のお知らせ

2018 鞍掛山トレイルランニング大会が 7 月 22 日(日) 滝沢市の鞍掛山で開催。競技種目及び区分

距離	16.8 kmコース		12.5km コース	
区分	男	女	男	女
	一般 19～49 歳		高校生	
	一般 50 歳以上			
	高校生			

◎ 参加資格・高校生以上の健康な男女(18 歳未満は保護者の同意が必要です。) 自己責任で完走できる自信がある方・所定の申込書を使用して郵便で申し込むこと

・申込書を受付後、申込確認書と参加料の払込取扱票(ゆうちょ銀行)を返送します。

・高校生は、学校又はクラブ単位での一括申し込みも受け付けます。申込期間 7 月 5 日(木) 必着まで 申込及び〒020-0833 盛岡市西見前 20-113-1

問合せ先 岩手県立盛岡南高校内 一般社団法人岩手県山岳協会 競技運営部長 遠藤敏英 宛

Tel 019-638-9373 参加料高校生:2,500 円、一般:3,500 円 定員先着 250 名。注意事項・競技コースとして相の沢牧野を通過するため、口蹄疫などの問題が発生した場合は競技を中止することがある。

・災害または荒天等の場合、中止またはレースを途中で主催者の判断で打ち切ることがある。その場合、参加料・手数料の返金は一切行わない。・各自において健康管理には十分注意し、事前に医師の健康診断を受診するなどし、当日は万全の体調で参加すること。

・競技役員は、競技者が疾病・けが等により競技継続が困難と判断した場合、競技を中止させることがある。

・参加者は大会当日必ず健康保険証を持参すること。
・登山道の保護及び一般登山者の安全確保のため、追い越し禁止等の制限区間を設けることがある。

・競技中、給水地点は2ヶ所に設置するが、必要と思われる水分、食料、防寒着等は各自携行すること。

コース試走 7 月 15 日(日) 9 時～13 時 30 分に限り全コースで試走可能。この日以外はコースの一部が閉鎖されていますので、通過を禁止します。

スポーツクライミング第1回コンバインド ジャパンカップ盛岡 2018

スポーツクライミング第1回コンバインドジャパンカップ 盛岡 2018 が6月 23 日(土)～24 日(日) 開催。

入場無料

6 月 23 日(土)予選

- ・女子スピード 9:00～09:30 ・女子ボルダリング 10:10～13:10 女子リード・14:30～17:00
- ・男子スピード 10:05～10:35・男子リード 11:15～13:45・男子ボルダリング 14:40～17:40

6 月 24 日(日)決勝

- ・女子スピード 9:30～9:45・女子ボルダリング 10:30～12:06・女子リード 12:45～13:15
- ・男子スピード 13:45～14:00・男子ボルダリング 14:45～16:21・男子リード 17:00～17:30
- ・表彰式 18:00～

◎会場
県営運動公園・岩手県勤労身体障がい者体育館



出場予定者・オリンピック強化選手・スポーツクライミング国際競技大会派遣選手(リード、ボルダリング)、ユース日本代表選手 定員:男子 30 名 女子 30 名 放送予定 AbemaTV: 6 月 24 日(日)10:20～17:40 (生中継)、会場内でのカメラ撮影は許諾がない限り禁止。

ジュニア登山教室 in 岩手山 2018

ジュニア世代に登山を通じてスポーツとしての登山と人と自然のかかわりのすばらしさを体験してもらおうと今年も岩手山で、開催します。期日は8月10日(金)～8月11日(土) 1泊2日で、対象は、小学生(2年生から6年生)とその保護者です。

募集人員は15組(小学生及び保護者含め30名:先着順)で、参加費用は、小学生 1,000 円 大人 3,000 円です。*傷害保険料並びに第1日目夕食・第2日目朝食及び小屋宿泊料(毛布代等)が含まれています。

持ち物等として、長ズボン Tシャツ 長袖シャツ 帽子 厚手の靴下 手袋 雨具 水 昼食 行動食(菓子、飴、果物等) 懐中電灯 汗ふき ロールペーパー 防虫剤 ポリ袋 着替え等をお願いします。

◎ 留意事項として、多少の雨でも実施しますが、コース及び予定時刻が変更になる場合があります。参加者は、事前に健康チェックを行って参加してください。持病のある方は、事前に医師の許可を得て参加してください。けが等の応急処置については、出来るだけの

対処はしますが、行動中の安全等については参加者が自ら責任を持つようお願いします。

連絡先・申込先 参加申込書を7月6日(金)まで
岩手県山岳協会登山普及部 登山担当 長畑
〒020-0863 盛岡市南仙北1丁目9-7Mハウス102号 携
帯080-5556-9071 FAX 019-632-2216
メール nagakun_7@yahoo.co.jp

登山・スポーツクライミング技術講習指導マニュアル八年ぶりに改訂

平成6年5月12日に策定し、その後2回の改訂をしてきました当協会編「登山・スポーツクライミング技術講習指導マニュアル」が八年ぶりに改訂されました。このマニュアルは、当協会独自の安全登山の啓発のため策定したもので、講習会の実施、加盟団体での山行計画作成のためのモデル的な内容です。

昨年から指導部で内容を精査して今回改訂しました。詳細な内容については、指導部へ照会をお願いします。

平成30年度 岩手山八合目「避難小屋管理員」の募集

今年も安全登山の啓蒙・自然保護活動を兼ねた小屋管理を実施いたします。その任務にあたる避難小屋管理員を募集しています。貴団体の会員に周知しご協力をお願いします。

募集期間は、7月4日(水)～10月6日(土)の全日数(土日祝日除く)で健康管理、日程計画から1回あたり3泊4日を基準とします。(土日祝日は普及部が対応)・食事は全食提供いたします。(内容 パックライス・レトルト・缶詰等)ただし、酒肴品は各自持参願います。・手当は一泊7,500円・管理員の配置計画は7～8月及び9～10月の2月単位で計画し、決定後関係の管理員に通知いたします。小屋での管理員の引継ぎは、正午(12時)といたします。担当：登山普及部 山口吉男
FAX019-641-2047 携帯090-1933-2445
E-mail：ijq.yama2038@gmail.com

今後の主な予定(9月まで)

- 6/16(土)-17(日) 県民体育大会・国体選手選考会
県営運動公園
- 6/16(土)-18(月) 全日本登山大会京都大会
- 6/16(土)-10/8(月) 岩手山八合目避難小屋常駐開始
- 6/23(土)-24(日) スポーツクライミングコンバインド
ジャパンカップ2018 盛岡 県営運動公園
- 6/23(土) 24(日) 日山協遭難対策委員会総会、研修会
東京海員会館(晴海)
- 6/30(金)-7/1(日) 東北高等学校登山大会秋田駒ヶ岳

- 6/30(金)-7/1(日) 岩手山八合目臨時診療所開設
- 7/1(日) 岩手山山開き
- 7/7(土)-8(日)-10(火) 親子クライミング教室
- 7月14日(土) トレランコース刈り払い作業
- 7/22(日) 2018 鞍掛山トレイルランニング大会
- 7/25(金) 第2回理事・スタッフ合同会議
- 7/28(金) 7.29(日) 東北総体山岳競技仙台市・加美町
- 8/3(金)-8/7(火) インターハイ 三重県鈴鹿山系
- 8/5(日) 沢登り講習会 南白沢
- 8/10(金)-8/11(土) ジュニア登山教室 in 岩手山
- 8/11(土)-8/12(日) 八合目臨時診療所開設
- 8/11(土) 祝日山の日
- 8/26(日) 岩登り講習会 久慈市侍浜
- 8/30(金)-9.2(日) 日本の名峰登山黒姫山、蓼科山、北横岳
- 9/12(水) 第3回理事会

ボッカ大将 50kgを超える荷物。
滴る大粒の汗、思いは登山者のため



6月9日(土)実施 岩手山六合目 詳細は、次号で紹介

《編集担当より》

相次ぐ山菜取り遭難へ警告

この時期、深緑の山には、光合成による豊富な酸素、新鮮な山菜が溢れています。

山岳遭難が増加しています。特に、最近の傾向として中高年者の山菜遭難が増えています。身近な通いなれた山でも、伐採や林道の荒廃、体力の変化やしばらくぶり入ったりしますと記憶違いもあります。原点に立ち返って慎重な行動が求められます。また、クマの被害も深刻です。山の荒廃は、人里との距離を近づけています。人的被害は、マスコミ報道以上に深刻な状況です。

慣れた山でも、常に慎重な行動に徹するよう啓発して行きましょう。